

△5月8日(水) 準例会 兵庫県山岳連盟同調  
「岳連の森づくりと観察」の報告Ⅰ

森の作業人/川崎・乾・奥・吉野

3月、年に一度の植樹を行い、無事に根付いてくれているかどうか？毎年のことだがこの時期一番気になるところだ！何分にも植樹後の水やりは天然の雨水のみ！・・・なので、雨が降らなければヤキモキするところではあるが、幸いにしてここ1ヶ月程の間は適当に降ってくれている。前月は雨天の為中止だったので、2か月ぶりの作業日だ。少し気になりながらも現地へ向かった。



最初は楽しくやっているが・・・



・・・そろそろ足腰にくるー！！

幸い、植樹したすべてが新芽・新葉をつけてくれていた。天気が良く、先ずは休息広場？の草抜きに女性スタッフ全員で作業開始。2時間もすると、ご覧のように(写真①参考)広々とした広場が現れる。

男性スタッフは斜面の草刈り、通路の補修、一番厄介な、トゲ付きのニセアカシアの刈取りや大きく伸びた枝打ち作業などに汗を流した。



作業後の森の様子/写真①



作業後の森の様子/写真②

季節は今が最高！眩しいくらいの鮮やかな緑と爽やかな風が、5月の森を演出してくれる！そして、何よりも一番の楽しみはと言うと、作業後の〇〇です！（参加されてのお楽しみ！）

ヒヨコの皆さん、

一度は森づくりにおいでませ～！！

天候 晴れ 参加者 17名(内当会員 17名)

△6月12日(水) 準例会

兵庫県山岳連盟同調

「岳連の森づくりと観察」の報告Ⅱ

一年の中で一番厄介な季節が、6月～8月の雑草成長期である。しかし、この時期を経験しなければ森の住人にはなれません！！



天候 晴れ 参加者 16名(内当会員 15名)